

【ねがいましては】

平成25年7月24日

KYOWA SCHOOL

第273号

「右しか知らない」

右しかなかったら、右が良くわからない。これでよいのかなと思うことがあります。

もし自分がひとりだけお給料をもらっていて、その額が月5,000円だとしたら、その価値がどのくらいのものなのか知らなくてすむわけです。たった今、現実というものさしをあてはめたら、「ふざけるな!」と、憤るのはあたり前でしょう。しかしよくよく考えてみると、知らなかった方が精神衛生上よいかもしいのです。

ものごとなんでも、過ぎると気になり、全くなくても気になるようです。

日ごろより貧乏だと気にされていると、世の中すべてお金お金・・・お金ばかりが気になって、お金だけを気にする毎日になってしまう。逆です。余るほどのお金が舞い込んできて、何の不自由もなく生活できるし、何だっけとすぐ買える。にもかかわらず、周りのお金持ちを気にしたり、来月の収入を気にしたり、はたまた年ごとの収入を気にしてみたり、やはり人生、お金のことばかり。

これをそっくり「成績」に転化してみます。

「おまえは成績が悪い、バカだ。」と、小さい頃から言われ続けてきた子がいます。その子しかいなければ、成績が悪いことがどのようなことなのか、バカとはどういう状態なのか、はっきりとはしません。

さて現実へとそっくり移動します。「あなたは成績が悪い」と言われてき子は、毎日が成績主義です。気になって仕方ありません。クラスや学年で、上位を取っている子についても同様、毎回のテストや順位が気になって仕方ありません。全く同じことをお母さまやお父さまも感じています。自分がテストをしてきたわけではないのですが、我が子がとんでもない点を取ってきたものなら、もう気になってしかたがありません。

親子で「成績成績・・・」、やがてやってくる、子の『勉強恐怖症』

子どもの場合、まだ社会の中身も知らない状態、成績が良いとどうなるのか、悪いとどうなるのか、そのようなことを知る由もありません。ただ言えること、親の様子がおかしいぞ・・・。つまり、親の状態を確認して初めて、自分の将来がひょっとすると危うい状態になっているようだと思えるわけです。もちろん、学校で返却されるテストの点数は、誰もがご周知の通り100点は良い、0点は悪いのです。クラスでの人気度にも影響が現れたりいたします。

そこで今の日本の中の常識を2つほど掲げてみます。

1. 落第は悪い → 勉強ができなかったから当然の「罰」として認識されています。しかし落第は義務教育課程では一般的にありません。どんなに0点ばかりでも学年は進みます。

2. 高校卒業後、大学現役合格が良い、1浪2浪は大学に不合格したからと思われがちです。

さて、場面を日本からフィンランドへ移します。「ねがいましては」に度々フィンランドが出てきますが、言わずと知れた学力世界一の国です。と言っても、日本国内で伝統的に行なわれている暗記や選択形式のテスト結果による学力ではなく、OECD（経済開発協力機構）が行う、各国の10年後20年後を予測するための学力です。つまりこの先、当該の国がどのようにして世界の中で生き延びていくのか、成長していくのか、それを予測すべく試される学力調査結果です。今の子どもたちがどのようにして、目の前の問題を解決していくか、解決しようとするのかを問う内容になっています。今年も4月に全国一斉に行なわれたものです。（小学6年生・中学3年生対象）

困難が目前に迫っている時、どれだけ子どもたちがそれに立ち向かっていくのかを計るテストだということです。

さて、先ほどのふたつの日本での常識は、フィンランドでは全く逆になります。

1. 落第は小学校から発生します。なぜなら上の学年にあがるための十分な学力がつかないまま学年を進めるのは良くないという観念が常識になっています。国ではそのような子に対し、手厚い内容のカリキュラムをつくり、すすめています。そのような子に対ししっかり税金を使っているということです。つまりゆとりのある教育体制が整っているということになります。

2. フィンランドでは、高校卒業と同時にそのまま大学へ進学する若者は少ないのが常識になっています。なぜなら、大学は自分の将来の一生の仕事を決定する大切な専門の学び舎だからです。医師のための大学へ行くのであれば、将来は医師としてその人生を全うする確率が高まりますし、建築関係の大学へ進むのであれば、将来は設計関連に身を投じることになる確率が高まります。まだまだ世の中のことをしっかりと把握しないまま、自分の身のあり方を安易に決めてしまうわけにはいきません。ですからフィンランドの高校生たちは、一旦高校を卒業すると、1～2年間、放浪の旅へ出かけたり、海外留学をしたり、将来の自分探しへと時間を使うのだそうです。つまり現役合格は特異扱いされるということになります。

どうでしょうか。日本・フィンランド、どちらが理にかなっているのか・・・。私も日本しか知らなかったら、このようなことも取り上げることはしませんでした。

今通われている学校しか知らないで、その中で成績が上がったのが下がったのと、一喜一憂していることがどのようなことなのか・・・。さて、きょうも勉強を楽しみましょう。ここは楽しむ勉強しか知るところ・・・?!